

【研修国（ザンビア共和国）概要】

ザンビア共和国基本情報（参照：外務省ホームページ）

首都：ルサカ

言語：英語（公用語）、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語

宗教：8割近くはキリスト教、その他 イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教

民族：73部族（トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系）

面積：752.61千平方キロメートル（日本の約2倍）

人口：2,057万人（2023年：世銀）

通貨：ザンビア・クワチャ（ZMW）

国祭日：10月24日（独立記念日）



気候：1年を通し、5～35℃まで変化。雨季と乾季がある。

標高が高く（ルサカは海拔約1,300m）日較差が大きい。

教育：ザンビアの義務教育は、7歳から始まる初等教育（小学校）7年、中等教育（中学校）5年の計12年。ザンビアの公用語は英語であり、他に73の民族語が話されているが、学校教育では小学4年生時に母国語から英語での授業に切り替わる。

ザンビアは銅やコバルトなどの鉱物資源に恵まれています。鉱業に依存した経済からの脱却を目指し、経済の多様化を掲げた開発政策を長年採ってきました。近年は、周辺国や自国の経済成長によって国内外の非鉱物製品の需要が拡大し、その貿易量が増加するなど、経済の多様化の兆候が見え始めています。しかし、産業発展に欠かせない交通網や電力など、経済インフラは脆弱で、教育や医療、給水衛生施設などの社会インフラも未発達であることから、依然として貧困率は地方農村部を中心に高い水準にあります。JICAは、(1)産業の活性化、(2)経済活動を支える基礎インフラの整備・強化、(3)持続的な経済成長を支える社会基盤の整備を重点分野として支援しています。（JICAホームページ「ザンビア」より）

